

Artist-in-Residence Exhibition Lee Seunghye: Subtle difference

アーティスト・イン・レジデンス企画展

李承熙..似是而非

似て非なるもの



2025.
3.15 sat - 5.11 sun

滋賀県立 陶芸の森 陶芸館ギャラリー 入場料：無料

〒529-1804 滋賀県甲賀市信楽町勅旨2188-7
TEL:0748-83-0909 FAX:0748-83-1193 [Web]https://www.sccp.jp

レジデンス展「李承熙:大丈夫」の展示風景、2023年1月、創作研修館ギャラリー

[休館日] 月曜日 ※5月5日(月・祝)は開館、振替休館は5月7日(水)
[開館時間] 9時30分～17時(入館は16時30分まで)

(主催)滋賀県立陶芸の森 (後援)駐日韓国大使館 韓国文化院 駐日韓国文化院



李承熙: 似是而非

Subtle difference

李承熙 (Lee Seunghee/1958-) は、絵画と陶芸、平面と立体の横断的な表現で「陶磁絵画・平面陶磁」といった新たな陶芸の道を切り開いた作家として、韓国国内より海外で先に注目されました。2006年より景德鎮で手掛け始めた「陶磁絵画・平面陶磁」は、泥漿(泥状の土)を80回以上塗り重ねることのできる、わずかな凹凸によって伝統的なやきもののモチーフを描く作品です。李は、このように「土の可能性」について常に研究し、独創的な作品を手掛けています。

本展は、2022年に李が滋賀県立陶芸の森のアーティスト・イン・レジデンス事業でゲスト・アーティストとして滞在制作を行った作品を中心に、信楽(日本)・清州(韓国)・景德鎮(中国)に展開した、新たなシリーズを一堂に紹介します。

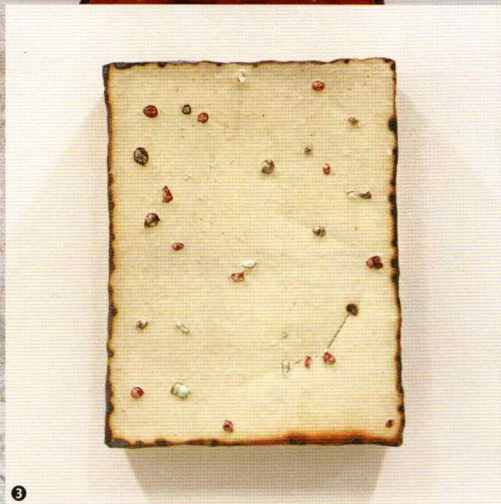
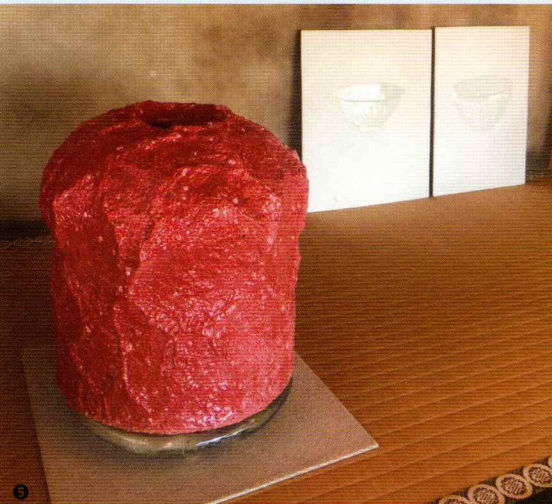


作家Instagram

私は韓国人であり、中国にアトリエを持ちながら、日本でも活動しています。もし韓国だけで暮らしていたならば、国のイデオロギーに忠実に生きていたことでしょう。しかし今では、文化や芸術に国境はないと深く感じています。(中略)

信楽という場所もまた私の夢の断片であり、新しい風景を見せてくれる窓でもあります。

—信楽での展示を考えながら、2024年12月19日 李承熙



①李承熙「Tao_korea」シリーズ、作家の清州アトリエにて、2011年 / ②李承熙「Tao_jingdezhen_12」2023年、作家蔵とともに / ③李承熙「Tao_Shigaraki_10」2022年、作家蔵
④李承熙「Tao_jingdezhen_12」2023年、作家蔵 / ⑤(左)李承熙「Tao_Shigaraki_21」2022年、作家蔵 / (右)李承熙「Tao_kyoto_2_kyoto_3」2018年、作家蔵
⑥李承熙「Tao_Shigaraki_20」2022年、作家蔵

同時開催

シリーズ・やきもの×グルメII
近江の古陶磁を味わう…湖国の料理とともに
会期:3月15日(土) - 6月22日(日)

次回展覧会

陶芸館ギャラリー アーティスト・イン・レジデンス企画
ヤエル・プラハ展(仮称)
会期:5月17日(土) - 6月22日(日)

陶芸の森へのアクセス

- 公共交通機関
 - ・「JR草津駅」より草津線乗り換え「貴生川駅」下車、信楽高原鐵道乗り換え「信楽駅」下車、徒歩20分(約75分)
 - ・信楽高原鐵道「信楽駅」より甲賀市コミュニティバス「陶芸の森前」または「陶芸の森(陶芸館前)」下車(約5分)
- 自動車
 - ・新名神高速道路 信楽インターより約8分
 - ・駐車場(無料):普通車約250台 大型バス約10台

滋賀県立 陶芸の森 陶芸館ギャラリー

〒529-1804 滋賀県甲賀市信楽町勅旨2188-7
TEL:0748-83-0909 FAX:0748-83-1193 [Web]https://www.sccp.jp/



←web

滋賀県立陶芸の森
公式Instagram
@sccp_museum

